

《担当者名》山田律子[rich@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

学生の関心領域における研究課題を探求するため、国内外の先行研究を検討して研究の動向を把握するとともに、研究の基盤となる理論や研究方法論を吟味した上で、研究計画書を立案し、フィールドでの予備調査を行う。

【学修目標】

- 1) 自己の関心領域における研究課題を明らかにすることができる。
- 2) 自己の研究課題に関して、国内外の先行研究をレビューすることができる。
- 3) 自己の研究課題に関して、基盤となる理論や研究方法論を吟味して、研究計画書を作成することができる。
- 4) 自己の研究課題に関して予備調査を実施し、研究計画書の妥当性・実施可能性を検討することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ） 10	自己の関心領域における研究課題の明確化	1)自己の関心領域における国内外の先行研究を検討し、研究の背景・意義ならびに研究課題を明確化する。 2)研究の基盤となる理論ならびに鍵概念を整理する。	山田
11 ） 20	自己の研究課題に関する文献レビューと方法論の吟味	自己の研究課題に対して、研究デザイン、研究方法論を吟味し、研究計画書を立案する。	山田
21 ） 30	研究計画書の妥当性・実施可能性の検討	自己の研究課題について立案した研究計画書に基づき、予備調査を行い、その妥当性、適切性、実施可能性を検討する。	山田

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

文献検討(50%)、研究計画書の作成(30%)、予備調査の実施(20%)によって総合的に評価する。

【参考書】

随時、提示する。

【学修の準備】

- 1)自己の研究課題について国内外の文献を検索し、文献検討すること。
- 2)自己の研究課題に関して基盤となる理論や方法論について学修すること。

【実務経験】

山田律子（看護師・保健師）

【実務経験を活かした教育内容】

老年看護学における学際的な研究実績を活かして、学生の関心領域における研究課題の探求と、その研究課題を明らかにするための研究方法論の吟味や研究計画書の立案などを実践的にサポートする。